

見通し

砂でできた

岡崎市根石保育園（愛知県岡崎市）

[1歳児]

<事前の様子> 砂場でA児と遊んでいる保育者が、砂で型ぬきした物を「プリンだよ。はいどうぞ」と言い、A児に差し出した。

	子どもの姿 (分析)	援助(♡) 読み取り(※)
不思議・探索・観察	<p>A児はプリンを見ると、手で握り壊す。壊すとニコニコし保育者の顔を見る。(これ何だろう?)</p> <p>保育者のすることをジッと見ている。(何だろう?) できたプリンを人差し指でつつく、握る、手を広げ押しつぶす、壊す。(試す)</p> <p>カップを手で握り持ち上げようとするが途中でカップが傾き、うまくできず崩れてしまう。保育者を見る。(どうして…?)</p>	<p>♡「壊れちゃったね。プリンもう1回作るね」と声をかける。</p> <p>♡A児の前でカップに砂を入れて固め、型ぬきをする。</p> <p>♡何度も繰り返した後、砂を入れたカップを下向きにして置き、「プリンできるかな?」と声をかける。</p> <p>※「先生はできるのに、何でうまくできないの不思議だな?」というような顔をしている。</p> <p>♡A児の思いをくみ取る。</p>
探索・試す	<p><1週間後></p> <p>しばらくできたプリンを見ているが、同じように壊す。</p> <p>保育者のまねをしてカップを地面に押し当てるが、力が足りずカップが砂に沈まない。(まねる)</p> <p>できた! その形をジッと見る。その後、保育者の顔を見て笑う。(できた!)</p>	<p>♡前回と同じように型ぬきした物をA児に差し出す。</p> <p>♡今度は地面の砂にカップをギュッと押し当て、カップを持ち上げるようにゆっくり示してみる。</p> <p>♡保育者が一緒に手を添えて型ぬきを試してみる。真上に持ち上げるように意識させる。</p> <p>「プリンできたね!」とA児の気持ちに共感する。</p>
行動・表現	<p><1ヵ月後></p> <p>保育者の声かけを聞き、側に来る。(やりたい・興味)</p> <p>カップを掴み上に持ち上げる。型ぬきに成功! その瞬間「あーっ!」と声を出し、保育者を見てニコニコと笑う。(できた!・満足)</p>	<p>♡「プリン作ろうか」と側の子どもたちに声をかける。</p> <p>♡カップに砂を入れ固め下向きにして置く。</p> <p>※A児はカップを持つ時、手をしっかり広げ持つようになり、途中で離すことがなくなった。指先にも力が入っている。</p> <p>※やっとできたことに満足感を感じ、保育者にも共感を求めている。</p> <p>♡「できたね! おいしいそうなプリン!」と言い、子どもの「できた!」という満足に共感する。</p>



考察

A児が砂場での型ぬき遊びに興味を示し遊ぶ過程で、砂に触れて感触を確かめたり、保育者のするところをよく見てまねたりして、自分なりに考え、工夫していくことがよくわかった。1歳児なりに挑戦意欲があり、できた時は「あーっ!」と嬉しい気持ちが声になり出てきた。十分言葉で伝えられないA児はできた時、困った時、保育者を見て自分の思いを出している。そこでの保育者の「受け止め、くみ取り、共感」が、A児の興味関心をさらに膨らませていく大切なことであると感じることができた。

ポイント

「砂での型ぬき遊び」を1歳児なりに楽しみ、興味を深めていく様子が見えてきます。「砂でできているから壊れる」「触ると形がなくなる」という面白さを味わうと、まねてやっています。思うようにできない体験をしますが、砂の不思議さや崩れる感覚がわかっているようで、繰り返しています。こうして、「科学する心」が動かされ、育まれることにより、1歳児には難しいと思われる技能を獲得する体験にもなっています。